




「測量の日」関連行事 札幌市内の小学校で測量体験学習会を実施

CONTENTS

1. 令和6年国土地理院表彰式を実施 2
2. 「測量の日」関連行事を実施
 - 札幌市内の小学校で測量体験学習会を開催 4
 - 第27回中国地区測量技術講演会を開催 5
 - 九州地区で「測量の日」記念イベント及び記念講演会を開催 6
3. 「自然災害伝承碑 」ウェブ地図「地理院地図」での公開数 7
4. 7月の報道発表・9月の主な行事予定 7

令和6年国土地理院表彰式を実施

7月17日に令和6年国土地理院表彰式を執り行いました。

式典では、長年測量事業の推進に功績のあった方、令和5年度に完了した国土地理院発注の測量業務において特に優れた成績を収めた測量業務の実施者及び技術者に対して、表彰状を授与しました。受賞者は、次の方々です。(敬称略)

国土地理院長表彰

◆測量事業関係功労者（1名）

ひやくなり りょういち
百成 了一

一般財団法人 日本地図センター 常務理事

◆優良業務（5件）

優良業務名	事業者名
防災対策地域水準測量（西伊豆2地区）	昭和 株式会社
防災対策地域水準測量（室戸地区）	株式会社 松本コンサルタント
令和6年能登半島地震災害に伴う緊急撮影（珠洲地区）	アジア航測 株式会社
航空レーザ測量及び三次元点群データ等整備（宮津・京丹後地区）	朝日航洋 株式会社
電子国土基本図（基盤地図情報）面的更新業務（R5関東地区）	株式会社 北日本ジオグラフィ

◆優良技術者（5名）

技術者名	事業者名
ひらい ゆきお 平井 幸男（主任技術者）	株式会社 淀川アクテス
てらおく としふみ 寺奥 俊文（主任技術者）	株式会社 松本コンサルタント
かわむら ともひろ 河村 倫明（主任技術者）	中日本航空 株式会社
みつやす としき 光安 利樹（主任技術者）	アジア航測 株式会社
おおば りょうじ 大場 龍司（作業班長）	株式会社 北日本ジオグラフィ



国土地理院長表彰

(総務部)

関東地方測量部長表彰

◆優良業務 (1 件)

優良業務名	事業者名
水準測量 (日本水準原点1地区)	東日本総合計画 株式会社

北陸地方測量部長表彰

◆優良業務 (1 件)

優良業務名	事業者名
成果不整合地域における基準点改測 (新潟県関川地区ほか1地区)	日豊・アースプランニング共同企業体

近畿地方測量部長表彰

◆優良業務 (1 件)

優良業務名	事業者名
防災対策地域水準測量 (紀伊南地区)	株式会社 淀川アクテス



関東地方測量部長表彰



北陸地方測量部長表彰



近畿地方測量部長表彰

(総務部・企画部)

「測量の日」関連行事を実施

●札幌市内の小学校で測量体験学習会を開催

北海道地方測量部では、「測量の日」関連行事の一環として、札幌地区測量設計協会と協力し、7月23日に札幌市立菊水小学校（北海道札幌市白石区）において、測量体験学習会を開催しました。

測量体験学習会は、北海道地方測量部と札幌地区測量設計協会の若手メンバーからなる札幌若力会（共催）が、地図と測量に関する知識と理解の向上を図ることを目的に札幌市内の小学校で実施しているものです。

29年目となる今年は、札幌市立菊水小学校で開催し、6年生の76名が参加しました。

◆教室内学習会

最初に、視聴覚室で教室内学習会を実施しました。北海道地方測量部の小野里正明次長から「地図と測量のお話」として、現在は人工衛星を使って基準点の位置を測っていることや飛行機から撮影した写真を使って地図を作っていること、ウェブ地図「地理院地図」を使うと小学校周辺の今と昔の様子を簡単に比較できることなどについて説明を行いました。

続いて、札幌若力会から北海道の測量にゆかりのある人物として、松浦武四郎と伊能忠敬の紹介を行い、児童たちは皆、真剣な眼差しで話を聞いていました。



「地図と測量のお話」を聞く児童たち

◆測量体験

教室内学習会の後は、グラウンドに移動して8班に分かれて歩測とトータルステーションにより、20mの距離を計測する測量体験をしました。

その後、トラバース測量の体験実習としてトータルステーションを用いて距離と角度から位置を求めるピンポイントトライアルを行いました。

児童たちは、最初は戸惑っていた様子でしたが、一度操作を覚えると大人顔負けのスピードで次々と計測を行っていました。



トータルステーションで距離を計測する様子

◆表彰式・記念撮影

測量体験の後は、体育館で歩測とピンポイントトライアルの表彰式を行いました。

歩測のcm単位の計測で20mに一番近い記録を出した者を含む成績上位者、ピンポイントトライアルで一番早かった班が表彰され、参加者全員から大きな拍手で祝福されていました。最後に、ピンポイントトライアルで求めた点をつなぐと、グラウンドには縮尺約1:15,000の北海道が浮かび上がり、参加者全員で記念撮影を行いました。今年も無事測量体験学習会を終了することができました。



実習で描いた北海道に集まって記念撮影

北海道地方測量部では、今後も測量業界などの関係者と連携して、「地図と測量」の重要性を伝える取組を発展させていきたいと考えています。

今回の体験学習会が児童たちの「地図と測量」への興味を高めるとともに、将来の職業選択のきっかけの一つになれば幸いです。

(北海道地方測量部)

「測量の日」関連行事を実施

●第27回中国地区測量技術講演会を開催

6月24日、広島合同庁舎（広島県広島市中区）1号館附属棟共用大会議室において、「測量の日」中国地区連絡協議会（委員長：中国地方測量部長）主催による「第27回中国地区測量技術講演会」を開催し、106名の方にご来場をいただきました。

中国地区測量技術講演会は、地理空間情報の利活用、新しい測量技術や測量に関するプロジェクトなどを、産学官から広く紹介し、測量技術の普及・啓発を図ることを目的として平成8（1996）年から開催しています。

今回の講演会では、最初に特別講演として広島大学大学院先進理工系科学研究科教授 作野裕司^{さくのゆうじ}氏から「広島大学におけるリモートセンシング測量教育の実践と今後の展望」と題して、広島大学で長年実施されている人工衛星・ドローン・気球などを使った写真測量的なリモートセンシング教育や、最新のリモートセンシング技術の動向をふまえながら、大学内外で実施しているリモートセンシング測量教育の事例と、今後の展望についてお話しいただきました。



作野裕司氏の特別講演

続いて、中電技術コンサルタント株式会社技術統括本部河川砂防部砂防設計課 河井恵美氏^{かわい えみ}から、連携や協業による『ICT技術の開発・展開』・『3次元計測～3次元設計』・『G空間情報の活用』等のインフラ分野のDX推進の強化と、組織横断的な人材育成の取組についてお話しいただきました。

最後に、国土地理院測地部 針間栄一郎^{はりま えいちろう}測地技術活用推進官から、令和6年度末にジオイド（衛星測位で標高を求める基盤となる標高基準）と電子基準点を基盤に実施する全国の標高成果の改定

や、標高を効率的に決めるための新しい測量方法「GNSS 標高測量」について紹介しました。



河井恵美氏の講演

会場では、国土地理院の令和6年能登半島地震対応のパネルのほか、海上保安庁第六管区海上保安本部海洋情報部から、海上保安庁の業務や海図に関するパネルの展示を行い、来場者の関心を得ました。



パネル展示の様子

今回の講演動画は、YouTubeチャンネル「測量の日」中国地区連絡協議会から10月6日までご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/channel/UCKVOYMQINXIKWIkCeOtP0wQ>



中国地方測量部では、今後も地理空間情報の活用推進、測量新技術の普及・啓発のために様々な取組を継続してまいります。

（中国地方測量部）

「測量の日」関連行事を実施

●九州地区で「測量の日」記念イベント及び記念講演会を開催

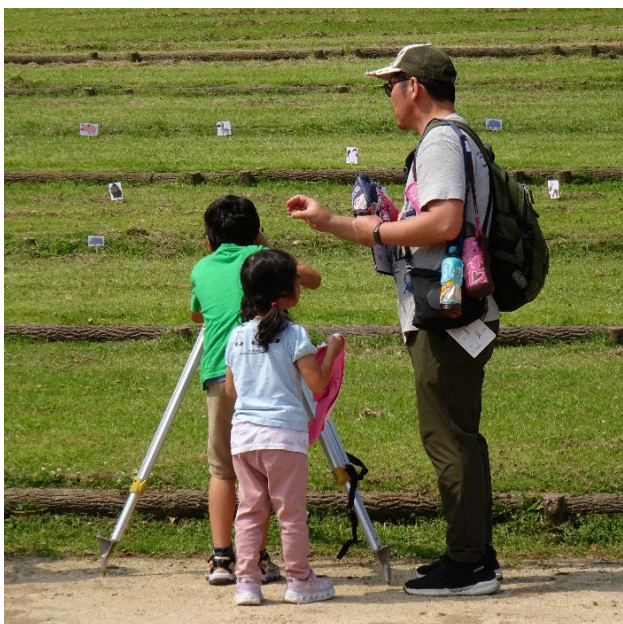
九州地方測量部では、「測量の日」関連行事の一環として、「測量の日」九州地区推進協議会の構成団体による行事を管内各地で実施しました。

◆「稲佐山をはかろう」

6月1日、稲佐山公園（長崎県長崎市）において、「測量の日」記念イベント「稲佐山をはかろう」（（一社）長崎県測量設計コンサルタンツ協会主催）が開催され、長崎市内の小中学生及び保護者ら約50名が参加しました。

イベント前半のミニ講座では、デミー博士こと長崎大学技術職員の出水^{みずあきら}亨氏から、測量や土木は暮らしに欠かすことができない重要な仕事であることを、こども達にも分かりやすく紹介していました。また、当部の阿部^{あべまこと}誠次長が江戸時代と現代の測量地図づくりについて講演しました。

イベント後半では、歩測による距離当てクイズ、実際の測量器械を使った測量体験、ドローンのデモ飛行を実施しました。遠くのパネルに描かれた動物を探すなど、趣向をこらした測量体験では、熱心に測量器械を覗くこども達の姿が見られました。保護者も含め、参加者の皆さんが楽しめるイベントとなりました。



どんな動物が見えるかな

◆「測量の日」記念講演会

6月26日、福岡県中小企業振興センター（福岡県福岡市博多区）において、「令和6年度「測量の日」記念講演会」を（一社）福岡県測量設計コンサルタンツ協会及び当部の共催により開催し、約100名の地方公共団体、測量業等関係者の皆様にご参加いただきました。

国土地理院からは根本^{ねもとまさみ}正美測量生産性向上推進官が「最先端の3次元測量を支えるレーザ計測技術 - 作業規程の準則の一部改正とマニュアル策定の取組 -」、当部の小野^{おのやすし}康部長が「令和6年能登半島地震における国土地理院の災害対応について」というテーマで講演を行いました。

また、アイサンテクノロジー株式会社 石原^{いしはらまさかず}将一氏から、点群データを活用した現況平面図の作成に関する講演、福井コンピュータ株式会社 南^{みなみまがり}曲和也氏から、自社の製品を活用した建設・設計分野におけるデジタル・トランスフォーメーションへの対応に関する講演があり、測量・設計分野における最新の動向に参加者は熱心に耳を傾けていました。



講演会の様子

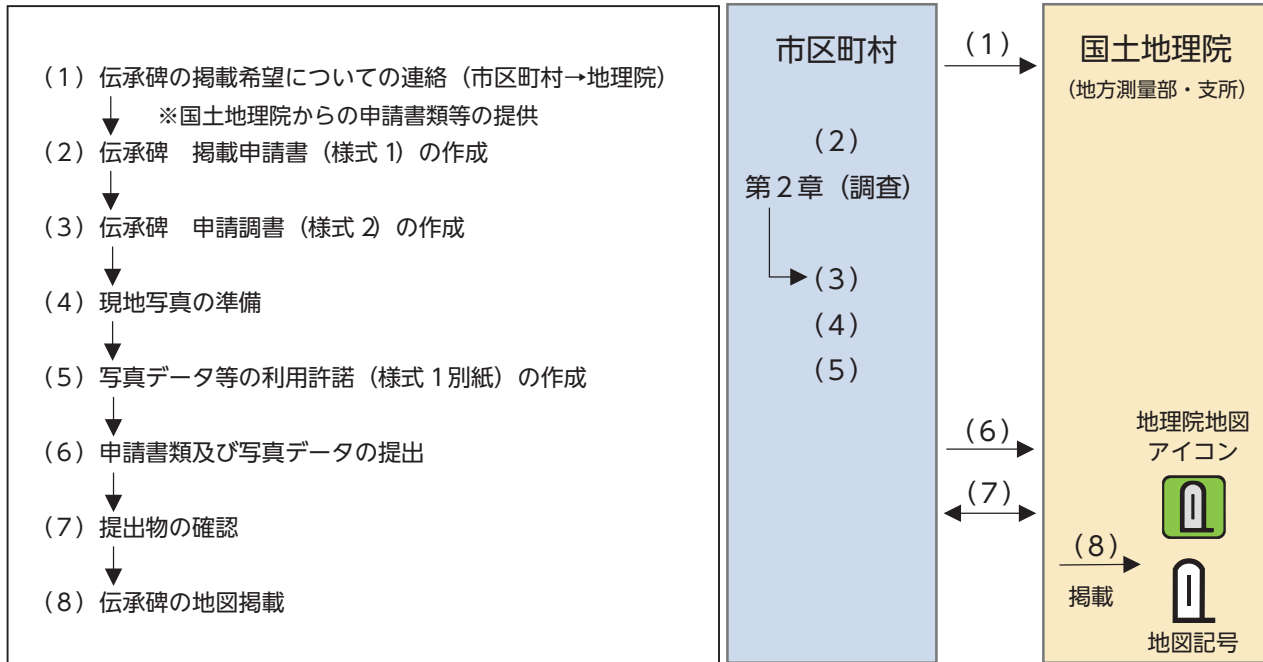
当部では、今後も「地図と測量」の重要性をご理解いただけるよう、関係各団体と協力して取組を進めてまいります。

（九州地方測量部）

47	都道府県	630	市区町村	2173	基
----	------	-----	------	------	---

詳細については、自然災害伝承碑のページ (<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi>) をご覧ください。
【市区町村の担当者の皆様へ】 自然災害伝承碑に関する当院への情報提供にご協力をお願いいたします。

自然災害伝承碑の申請の流れ



様式や手続きの詳細は「自然災害伝承碑に係る調査業務 実施の手引き 第6版 (令和6年3月)」 (https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_info.html) をご覧ください。

7月の報道発表

3日	令和6年能登半島地震で発生した山地災害等の状況を把握・分析するための航空レーザ測量 (速報成果) の提供について	基本図情報部
8日	令和6年6月の地殻変動	測地観測センター 地理地殻活動研究センター
9日	令和6年測量士試験の合格者を発表	総務部 企画部
17日	測量業務の優良業務を表彰	関東地方測量部
17日	測量事業関係功労者を表彰 ～測量技術の発展と地図の普及啓発のために～	総務部 企画部
19日	富士山で三角点の測量作業を実施します ～基準点の標高改定に向けた取組～	測地部
22日	企画展「国土地理院の地図の変遷 - 地図から地理空間情報へ -」を開催中	総務部

報道の内容は、国土地理院ホームページ> 2024年 報道発表資料一覧 (<https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2024.html>) をご覧ください。

9月の主な行事予定

7/17～9/23	地図と測量の科学館 企画展「国土地理院の地図の変遷 —地図から地理空間情報へ—」
-----------	--

国土地理院広報は、
 国土地理院ホームページ> 広報誌 > 国土地理院広報
 (<https://www.gsi.go.jp/WNEW/koohou/>) に掲載しています。

発行 **国土交通省国土地理院**
 Geospatial Information Authority of Japan

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
 TEL 029-864-6255
 FAX 029-864-6441

連絡先：総務部広報広聴室
 国土地理院ホームページ
<https://www.gsi.go.jp/>